

令和6年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

大和合金株式会社・三芳合金工業株式会社 代表取締役社長 萩野 源次郎

企業概要

<http://www.yamatogokin.co.jp>

所在地：東京都板橋区前野町2-46-2
埼玉県入間郡三芳町上富508

設立：1953年・1963年

資本金：45百万円・52.5百万円

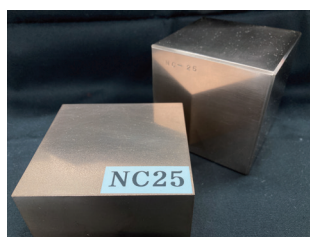
従業員：43人・127人

事業概要：特殊銅合金の研究開発及び鋳鍛造品（溶解・鋳造・鍛造・押出・熱処理・機械加工を含む）の製造・販売

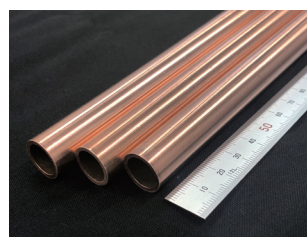


受賞のポイント

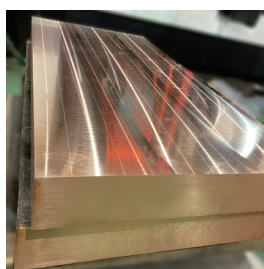
- ①有害性が懸念されるベリリウムを含まない銅合金（NC合金）をコア技術とし、素材から製品まで一貫して製造できることが武器。自動車・半導体・鉄道・航空機業界などに幅広く提供。大手素材メーカーが断るような小ロット、短納期の依頼や研究開発も社会課題解決に繋がると判断すれば前向きに受注するなど、他社と差別化。大手企業や研究機関からの共同研究の依頼や相談も後を絶たない。
- ②これまでは配合や技術を秘匿化することが多かったが、海外へ市場が広がり係争に備え特許で守る方針に転換。特許に加え、公証やタイムスタンプを活用。毎月外部の専門家と十分に議論した上で知財戦略を決定。仏で世界35カ国が参加する国際的な核融合実験「ITER（イーター）」プロジェクトが進行する中、同社は世界に5社しかない入札資格を有し、核融合炉の第一炉壁に使われる板材の落札を勝ち取った。
- ③萩野代表取締役は、産業構造審議会臨時委員（知的財産分科会特許制度小委員会）や内閣府知的財産戦略推進事務局（知財のビジネス価値評価検討タスクフォース委員）などを歴任。



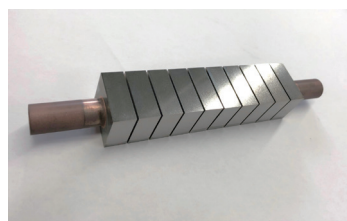
有害性が懸念されるベリリウムを含まない銅合金（NC合金）



核融合実験「ITER（イーター）」プロジェクトのダイバータに使われる管材



核融合実験「ITER（イーター）」プロジェクトの第一炉壁に使われる板材



核融合実験「ITER（イーター）」プロジェクトのダイバータを模擬した展示用サンプル（同社の管材とタングステンブロックを実際に接合したもの）